



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	三島田方特別支援学校	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>				
重点項目	得点 <sup>*</sup> /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.9 / 5		がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	4.0 / 5		よい	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4 / 5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.5 / 5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	2.9	
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①全教室に空調設備を設置。 ②学習中の十分な採光を確保するため普通教室は全て南側配置としている。南側教室には、水平庇を設け夏期の日射を効果的に遮る。南側と北側に窓を設け十分な通風を確保している。	Q-1	2	2.1 2.1.2 ①	外皮性能
	Q-1	3	3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備
	Q-2	2	3.2 3.2.1 ③	昼光制御
	Q-2	2	2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1	⑤	生物環境の保全と創出
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑩運営に係る消費エネルギーを把握し、無駄のない効率的な運用を目指す。	LR-1	1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型衛生機器を使用し節水に努める。 ⑫可能な限り、静岡県産材を使用する。	LR-2	1	1.1 ⑪	節水
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭⑮グラウンドを全面芝生化、周辺建物への砂塵の被害をなくす。 ⑭⑮十分な駐車スペース、駐輪スペースを確保し、周辺道路への交通負荷を与えない。	LR-3	1	⑭	地球温暖化への配慮
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	4.0	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1 2.1.1 ⑯	耐震性
			2.1.2 ⑯	免震・制振性能
			2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備
			2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備
			2.4.3 ⑰	電気設備
			2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法
			2.4.5 ⑰	通信・情報設備
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点	3.4	
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳壁長さ比率=0.1576	Q-2	1	1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1 3.1.1 ⑳	階高のゆとり
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1.2 ㉑	空間の形状・自由さ
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	1.5	
■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/⑷敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1	⑵	生物環境の保全と創出
		2	⑶	まちなみ景観への配慮
		3	3.2 ⑷	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善) ⑸グラウンドを全面芝生化、周辺建物への砂塵の被害をなくす。 ⑸十分な駐車スペース、駐輪スペースを確保し、周辺道路への交通負荷を与えない。	LR-3	2	2.2 ⑸	温熱環境悪化の改善

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三島田方特別支援学校	階数	地上4F
建設地	静岡県伊豆の国市寺家235-1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、22条区域	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年5月10日
敷地面積	9,914 m <sup>2</sup>	作成者	針谷建築事務所
建築面積	2,554 m <sup>2</sup>	確認日	2019年5月13日
延床面積	7,271 m <sup>2</sup>	確認者	鳥居 久保



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 89%

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 快適な室内環境及び外部環境が得られ、使いやすいものとする。 また、周辺環境及び周辺建物への配慮をする。 ※「CASBEE静岡2016年版」による評価結果である。		<b>その他</b> 特に無し。
<b>Q1 室内環境</b> 全教室に空調設備を設置。学習中の十分な採光を確保するため普通教室は全て南側配置としている。南側教室には、水平庇を設け夏季の日射を効果的に遮る。南側と北側に窓を設け十分な通風を確保している。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築物移動内滑化基準を満たし、児童・生徒が使いやすい建物となっている。また、修繕工事、設備機器の更新に配慮している。PS-EPSは上下階で連続させ、修繕・更新時の工事範囲を最小すると共に、分電盤やSPアラーム弁を収納する設備諸室は全て廊下等の共用部に配置することで業者作業の効率化を図っている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> グラウンドを全面芝生化、敷地周りには低木を植栽し緑地面積を確保している。また、建物の色彩の検討を行い、周囲の風景と調和をさせている。
<b>LR1 エネルギー</b> 運営に係る消費エネルギーを把握し、無駄のない効率的な運用を目指す。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型衛生機器を使用し節水に努める。 可能な限り、静岡県産材を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> グラウンドを全面芝生化、周辺建物への砂塵の被害をなくす。 十分な駐車スペース、駐輪スペースを確保し、周辺道路への交通負荷を与えない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される